

1 受験資格

州ごとに受験資格が異なります。 ➡ P.26

米国公認会計士試験を受験するためには受験資格が必要です。受験資格は大学別に学位要件と単位要件に分けられます。学位要件とは、大学・短大などを卒業して一定の学位を得た場合に満たされる要件です。単位要件とは、会計単位とビジネス単位を一定数以上取得した場合に満たされる要件です。一般的にみて日本の大学を卒業されている場合、多くの州が要求している会計単位が不足している方がほとんどです。

学位要件

単位要件

受験資格

一般的に、学位要件とは短期に属して4年制大学の学位である「学士号」を必須条件とすることです。学位要件としない州もあります。

4年制大学卒業の場合

「学士号」が与えられるため日本の4年制大学を卒業した場合、学位要件が満たされることになります。

4年制大学在学中の場合

ハーモント州、モンタナ州、アラソカ州では、一定の条件下で在学中の受験が可能となります。

会計単位

会計学、財務会計、財務諸表論、管理会計、簿記計算、監査論、税法、国際会計などが会計単位として認められます。

ビジネス単位

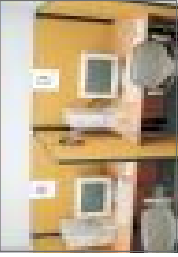
経済学部、経営学部、商学部などにおいて専門科目として認められている科目はほとんどがビジネス単位として認められます。

TACなら

ブラッドリクス単位認定試験プログラムで不足単位を取得できます。
※単位は1500-66

2 試験形式

コンピュータのモニター画面に出題される問題に対して解答を入力する試験です。



Prometricテストセンター会場風景

3 試験科目

実務レベルの基本的な問題が、広く深くまんべんなく出題されています。全部で下記4科目です。

科目名・出題分野・出題割合		試験時間・出題形式
FAR	Financial Accounting & Reporting (財務会計)	4.0時間 四択問題 90問 / 60% Task-based Simulation問題 7問 / 40%
	企業や非営利法人、政府機関、その他において求められる一般的な会計基盤の知識、および、それらを業務において活用していくために必要な能力を問う科目。 80% Financial Accounting (企業会計※IFRSを含む)、20% Non-profit Accounting (政府と非営利組織会計)	
BEC	Business Environment & Concepts (企業経営環境・経営概念)	3.0時間 四択問題 72問 / 85% Written Communication問題 3問 / 15%
	ビジネス界における多くの選択引について、その背景と会計的意義についての知識、およびそれを実務上で応用し、活用する能力を問う科目。 18% Corporate Governance コーポレートガバナンス、18% Economics 経済学概論、17% Information Systems IT 情報、47% Financial Management / Strategic Planning / Operations Management 管理会計等	
REG	Regulation (諸法規)	3.0時間 四択問題 72問 / 60% Task-based Simulation問題 6問 / 40%
	Federal Taxation, Professional Responsibilities (職業倫理と法的責任) \ Business Lawの知識、およびそれらを業務において活用していくために必要な能力を問う科目。 64% Federal Taxation、連邦税法、19% Business Law/Business Structure ビジネス法・米商組織法、17% Ethics 職業倫理、47% Financial Management / Strategic Planning / Operations Management 管理会計等	
AUD	Auditing & Attestation (監査および諸手続)	4.0時間 四択問題 90問 / 60% Task-based Simulation問題 7問 / 40%
	監査手続・GAAS (Generally Accepted Auditing Standards) ・監証証明業務に関する知識、その他の監査の知識、およびそれらを業務において活用していくために必要な能力を問う科目。 82% Auditing & Attestation 監査と証明業務 (※ISAsを含む)、18% Professional Responsibility 会計士としての責任	
合計 14時間		※2014年8月現在の情報を元に作成。

4 受験地

受験地は出願州と異なってもOKです。

受験するためには米国いすれかの州(含むグアム)に願書を出します。出願先の州のことを出願州と言います。受験地は出願州と異なってもOKです。受験地：米国のコンピュータ試験会場 (High Securityであるプロメトリックセンター)
下記日本のコンピュータ試験会場2カ所(日本受験のできない出願州もあります)

日本受験できる方

下記いずれかに当てはまる方が対象となります。

○日本国籍をお持ちの方 ○日本の永住権をお持ちの方 ○日本に長期滞在の外国人の方 (在留カードまたは外国人登録証をお持ちの方)

○米国国籍をお持ちの方 ※日本受験時には身分証明書としてパスポートが必要です。※短期滞在の外国人の方は日本国内での受験はできません。

試験会場(日本受験)

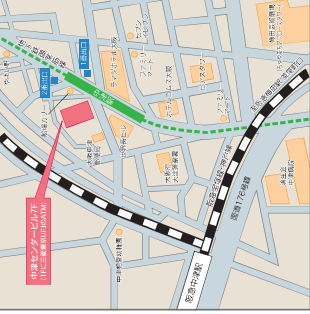
東京、大阪の会場で受験できます。

東京

〒101-0062 東京都千代田区神田神保町4-6
御茶ノ水ノランシティ 御茶ノ水ノランシティ アカデミア5F
電話番号03-5255-9511

大阪

〒531-0071 大阪府大阪市北区中津1-1-1
大阪中津試験会場 中津センタービル7F
電話06-43710-0811



5 受験料(2014年8月現在)

科目別の受験料 FAR \$192.03, BEC \$172.51, REG \$172.51, AUD \$192.03

日本受験追加料金

日本国内で受験する場合、科目ごとに下記追加料金 (International Fee) のお支払いが必要になります。

日本受験追加料金 FAR \$307.97, BEC \$327.49, REG \$327.49, AUD \$307.97

科目別の受験料 + 日本受験追加料金 = 約\$500 / 科目となります。

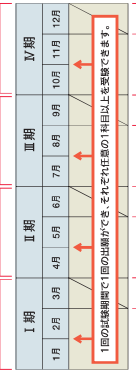
※日本受験の追加料金は一律米ドルと設定されていますので、受験予約の際は事前にプロメトリックのサイト (<http://www.prometric.com>) で実額を設定をご確認ください。

6 受験日

受験日を選ぶことができます、しかも1科目あたり年間最大4回受験することができます。

受験スケジュール概要

1年間を4分割し、それぞれの期ごとに受験ができます。
(年間最大4回まで受験可能)



①1年を3か月ごとの4つの期に分け、3の倍数月を除く8か月間(1・2・4・5・7・8・10・11月)にわたって試験が実施されています (米国、日本受験いずれも可)。

②各期1回、年間最大で4回受験することができます。

③1回の受験で受験する科目数は任意に決めることができます。社会人の方は2科目ずつを2つの期にわたって受験される方が多いようです。もちろん1科目ずつの受験や4科目一度に受験することも可能で、受験する科目の順序も任意で決めることができます。

合格発表はおおむね受験日の1か月後頃を目処に行われています。

